

長野県池田町「東海ゴムの森」で間伐作業

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、長野県池田町の「東海ゴムの森」で里山保全ボランティア活動を実施しましたので、お知らせいたします。



竹の間伐作業に汗を流す参加者



参加者全員による記念撮影

当社は 2008 年 7 月、長野県「森林（もり）の里親促進事業」の理念に賛同して、池田町との間で里親契約を締結したのをきっかけに、当社従業員有志が地元の林業関係者らと共同で、「東海ゴムの森」（38ha）での植樹・間伐・枝打ち作業などのボランティア活動を、毎年春・夏・秋の 3 回実施しております。

19 回目の実施となる今回は、当社の社員 31 名が 8 月 30 日（土）～31 日（日）の 1 泊 2 日の日程で参加しました。参加者は、池田町の役場関係者や地元自治会、森林組合などの皆様から指導を受けながら、のこぎりを使って夏の間に生い茂った竹の間伐に取り組みました。この後、竹細工や郷土料理を楽しむなど、地元の皆様との交流を深めました。今回は、インターンシップの一環で当社の人事総務部 CSR・社会貢献室で研修を受けている大学生 2 名も参加し、企業が果たすべき社会貢献のあり方について学ぶ機会にもなりました。



かんぴょうの皮むきに挑戦するインターンの大学生

当社は、地域の皆様から愛され、必要とされる企業であり続けるため、環境保全に向けた取り組みを続けています。美しい自然、そして限りある資源を次の世代に引き継ぐ社会的使命を果たすため、地道な活動を通じて人と自然が共存できる持続可能な社会づくりに貢献してまいります。